

特集

少額短期保険業制度導入から5年

課題を検証し、将来像を探る

20頁



五十川社長

まぶごころ少額短期保険(五十川純社長)

まぶごころ少額短期保険(東京都渋谷区、五十川純社長)は2008年3月に設立し、同年9月に登録した。現代の社会情勢と社会保障に適合した保険の開発をテーマに、昨年9月にはうつ病や認知症をカバーする「総合医療保険」を発売。「心と体の両面の健康増進に役立ちたい」と語る五十川社長に話を聞いた。

新しい保険をつくりたい

——経営理念は

五十川 もともと保険会社だったので、今までの保険会社にならなかった商品をつくりたいと考えている。特に、社会情勢と社会保険に合ったものを生み出していきたい。テーマは「心と体の健康に役立つ保険会社」。例えば、外国の保険会社では、所得補償保険やうつ病をカバーしているが、保険会社は保険金を支払うだけでなく、カウンセラーや医師を派遣して復職支援まで行っているケースがある。保険にはま

まだ可能性がある。現代の日本の風土にあった商品の開発とサービスの提供に注力していきたい。

——会社の概要と社長としての抱負は。

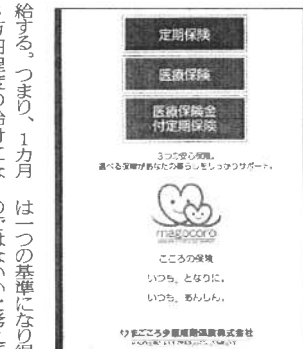
五十川 資本金は2億8000万円、役員が4人、従業員は8人。相互扶助の精神を基盤に据え、今後はさらに保険業界の既成概念を覆すような保険をつくって、世の中に広めていきたい。今の日本に必要とされる保険を提案していきたいと考えている。

うつ病、精神疾患などの社会問題に着目

——商品の概要は。

五十川 当社の一番の特徴は医療保険。わたしが保険会社になったころ、医療保険の入院日額を保

何より顧客にとって分かりやすい商品設計を念を配った。
もう一つの柱が昨年9月に発売した団体向けの総合医療保険。日本国内でうつ病を含む気分障害の患者が100万人を超える、大きな社会問題となっていることに着目し、保険にできるものは何かと考える設計した。一般的な医療に加え、うつ病、認知症、統合失調症の場合の所得までをカバーするのは日本初と自負している。



パンフレット

「保険会社になりたい」

——現在の経営課題

五十川 保有契約高を増やすのが最大のテーマ。本年3月末まである程度の収益を出せるような体制を構築することを目的に営業を進めている。現状では昨年3月に描いたシナリオどおりに進んでいるので、このまま結果に結び付けていきたい。

——今後の目標は。

五十川 目標は保険会社になること。当社は少額短期保険業からスタートしたが、この経験を生かして保険会社にならんと考えている。この業界に入ることで、保険会社に居たころには無理だと思っていたことも、実際には可能なことが数多くあることに気付くことができた。普通分娩(げんべん)への給付もその一つだ。こうした経験を持つ人が集まって保険会社をつくれたら幸せなことだと思う。特に損害保険には幅広いリスクを洗い出して商品化する文化が根付いているが、生命保険にはこうした視点が見えていない。少額短期保険会社が保険会社になれば、保険に対する世の中の見方も変わるはずだ。大きな夢はあるが、今後も収益を積み重ねて、保険会社になれるよう努力していきたい。(この連載は今回で終了いたします)

うつ病や精神疾患までカバー

普通分娩にも対応

——うつ病を保障できるカバーするののか。

五十川 通常の病気が入院は2日以上入院に対して1日目から1日一律5000円を最大60日まで支払う。手術給付金は一律10万円、1保険期間に2回まで支払われ、うつ病など心の病を患った場合には1日2000円を最大60日給付する。この設計は国の社会保険制度の傷病手当金に倣ったもので、うつ病で4日間休んだ場合、3日間間費4日目から60日間支

の90%程度を賄えるように計算している。統計上、うつ病などの精神行動障害の通院頻度は15日に1回で1カ月に2回とされており、その診療費と薬剤費を踏まえて2000円としたい。

ただ、心の病気は長く患つて復帰が困難になるため、あまり長い期間を設けてはいない。統計的にも、休業日数を計算すると、業種によつて多少のばらつきはあるものの、平均では約34日となつており、60日という

ボによる直接販売と代理店販売、直接販売で訪問した企業に代理店がある場合には同時に代理店開拓も行っている。現在は企業向けの健康診断業務を行っている企業と提携し、同社に健康診断を依頼している企業などにアプローチしている。商品開発に当たっては健康に関するさまざまなデータが必要になるが、そうした情報提供についても協力してもらっている。

ここを系口に市場を開拓したい。

は5000円以上の手術費を3割負担で1万5000円以上の手術費があれば支払うこととした。

間休んだ場合、3日間間費4日目から60日間支

は5000円を最大60日まで支払う。手術給付金は一律10万円、1保険期間に2回まで支払われ、うつ病など心の病を患った場合には1日2000円を最大60日給付する。

は5000円を最大60日まで支払う。手術給付金は一律10万円、1保険期間に2回まで支払われ、うつ病など心の病を患った場合には1日2000円を最大60日給付する。

新版 FP基礎

—ファイナンシャル・プランニング—

神戸学院大学法学部教授/ファイナンシャル・プランナー 赤堀勝彦 著

FPの活動と実際、金融資産運用設計、不動産運用設計、ライフプランニング・リタイアメントプランニング、リスクと保険、タックスプランニング、相続・事業承継設計など FPの基本的な分野を体系的に学習できるよう配慮。巻末付録として、論文「老後のパーソナル・リスク・マネジメント」を収録するなど、前者「FP入門」で収録しきれなかった新要素も多数追加収録。CFP資格取得に欠かせない一冊。

●定価(本体3,500円+税) ●送料340円 ●B5判並型・312頁 (2011年4月刊)

お申込は FAX または Web で FAX 03-3865-1431 http://www.homai.co.jp/

保険毎日新聞社 東京都千代田区岩本町1-4-7 TEL 03-3865-1401